

# PROGRAM NOTE

## HCJBクリスマス・コンサート2010

### 12月恒例のHCJBクリスマス・コンサートは大盛況でした。

12月恒例のHCJBクリスマス・コンサートは大盛況でした。今年はエクアドルの首都キトは市創立476年を迎えます。そのため祝典、市中パレード、闘牛などの特別行事で街中がわきかえるなか、コンサートは市中心街にあるスクレ国立劇場で開かれ2日間にわたる

6回の公演に待ちわびた5千人近い市民が押しよせました。

このコンサートは、HCJBが1965年以来毎年ひらいてきたもので、会場となった国立劇場は、エクアドルをスペイン統治からの解放に活躍したスクレ

レ将軍の名前に因んでつけられたものです。米ドルが通貨に採用される前はスクレでした。また、1999年に噴火したキト西側のピチンチャ山（海拔4794米）はスクレ将軍が輝かしい勝利をあげた史跡で山の中腹には当時の激戦を物語る歴史博物館があります。

正面ステージに勢揃いした男女あわせて70名のコワイヤとオーケストラが、おなじみのキト市を讃える曲を次々と演奏すると、会場からはどよめきが起こり、手拍子、足拍子で踊り出す人たちまで飛びだすありさまでした。

今年の特別ゲストはエクアドル出身の3兄弟（レナト、ウォルター、エディ）による音楽チーム「Two or More」で、3人それぞれが管、弦、打楽器を演奏しながら歌と寸劇を交えての楽しい舞台をくりひろげて観衆から大喝采をうけました。



エクアドルの通貨単位は2000年までスクレ(Sucre)でしたが、ハイパーインフレの為にスクレ硬貨は廃止されUS\$に切り替わりました。

因みに1964当時硬貨をひとつ持って、山積みになったナランハ（甘いオレンジ）を買いにいくと25ケ。\$字型の菓子パンなら12ケ。1US\$は13スクレでした。

スクレ硬貨の大きさは直径2.5センチ。表にはスクレ将軍の横顔が刻まれ、裏にはエクアドル国旗のうえにコンドルが悠然とはばたいています。



コンサートの最後の曲は、私が編曲した賛美歌「きよしこのよる」とトランペット奏者ロベルト・ロハがラテンアメリカのクリスマスキャロルをモザイク風に編曲した「クリスマス・メドレー」でしめくくりました。

私たちがよく出かけるコンサート・ホールやスクレ劇場のような場所では、ついその建物に目をうばわれてしまいがちです。This is a place where people come." しかし、クリスマスの夜にすくい主であるみどりごが生まれたのは目立たない馬小屋でした。"This is a place where God came."

きよしこのよる 星はひかり  
すくいのみ子は まぶねの中に  
ねむりたもう いとやすく (賛美歌109番)

神様は私たちが罪から解放するためにみ子をおくりこまれたのですが、地上には泊まる部屋がなく、飼葉おけに布にくるまって寝かされました。そのうす汚い暗い場所は、一面私たちのこころの中を象徴してはい

ないでしょうか。この世の派手なもの、権力、金脈などについて目をうばわれてしまいがちな現代ですが、私たちがこころの部屋にく神のことばが人となったイエスを迎えることで、クリスマスを本当の意味で祝うことができるようになるのです。"O Come to my heart Lord Jesus, there is room in my heart for you." これが私のクリスマスであり、祈りです。



**MERRY CHRIST(キリスト) MAS(祭) TO YOU!**

レポーター

尾崎道夫



放送時間：日本時間午前7時半～8時

放送周波数： 15525kHz 19mb式)

(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

**H C J B 日本語放送**

新住所：H C J B (日本語放送) 1517 N WILMOT RD #298 TUCSON AZ 85712 USA